® 公開特許公報(A) 平1-160286

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号 8725-5C 匈公開 平成1年(1989)6月23日

H 04 N 7/14

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

静止画テレビ電話装置 図発明の名称

> 頤 昭62-319726 ②1)特

願 昭62(1987)12月17日 ②出

神奈川県鎌倉市大船2丁目14番40号 三菱電機株式会社商 賢 60発明者 柏 木 品研究所内 神奈川県鎌倉市大船2丁目14番40号 三菱電機株式会社商 主 枝 者 = (73)発 品研究所内 神奈川県鎌倉市大船2丁目14番40号 三菱電機株式会社商 松 文 昭 8月 苦 1/5 ②発 品研究所内 神奈川県鎌倉市大船2丁目14番40号 三菱電機株式会社商 沢 昭 史 明 峕 (7)発 品研究所内

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号 三菱電機株式会社 ①出 願 一人 弁理士 大岩 増雄 外2名 如代 理 人

最終頁に続く

OΗ

1. 強明の名称

静止画テレビ電話装置

2. 特許請求の範囲

(1)テレビカメラによって撮影した静止画を電 話回線を用いて、送受する静止画テレビ電話装置 において、

テレビカメラと、このテレビカメラで撮影した 静止値についてのテータを処理するCPUと、こ のCPUで得られたデータを電話回線送出用の信 号に変調する変調手段と、この変調された信号を 無線として危信するとともに外部からの無線によ る信号を受入れる無線送受信部とを確えた移動部

出話回線に接続され、無線送受信部を確えた地 話インタフェース回路部と、

を育することを特徴とする静止側テレビ措施装置。 (2) 上記電話インタフェース部1つに対し複数 の移動部を有し、上記電話インタフェース部より 供給されたコードを上記移動部のCPUが識別し

あらかじめ記憶されている自己のコードと一致で るかの判定を行い一致した時に自己のテレビカメ ラで得た画像データを無線送信部を介し上記賞話 インタフェース部に送信することを特徴とする符 許請求の範囲第1項記載の静止画テレビ電話装置。 (3)上記移動部は画像を表示するディスプレイ および音声通話のための送受話器を有することを 特徴とする特許請求の範囲第1項または第2項記 裁の前止画テレビ電話装置。

(4)上記移動部はその電源用の電池を内蔵する ことを特徴とする特許請求の範囲第1項から第3 **近いずれかに記載の静止画テレビ電話装置。**

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

この発明は静止画テレビ電話装置、特に無設地 信を利用してその操作性を改善したものに関する 「従来の技術」

電話通信回線を用いて音声と画像とを同時にご るテレビ電話が要引されているが、実際上、現一 の電話通信回線では、膨大なデータ量を必要とす る 動態 画像を連続的に透受信することが困難であり、静止 画像を通話中に相手方に送信する静止画 テレビ電話が実用化されつつある。

この静止画テレビ電話は、通常の音声による通話中に、この通話を一時的に中断して所望の静止 画、例えば話者の顔、通話内容に応じた写真画面 あるいは絵等を任意に送ることが可能である。

従って、このような静止両テレビ電話によれば 従来不可能であった画像を電話回線によって送受 信することができ、またその都度一枚のみの静止 画像を送るためにデーク処理量も限られて、テレ ビ電話の実用化を容易に行うことができるという 利点があった。

このような静止画の伝送を行えるテレビ電話は、 倒えば外国通信技術1986年10月号などに示されている。第3回は、その簡易静止画テレビ電話機の回路構成図である。図において、(1)は 送受話器、(2)はマイクロホン、(3)は音声 入出力回路、(4)はアナログ回路、(5)はマ トリクススイッチ、(6)は電話インクフェース

の通信能力があるテレビ電話機であるかを確認するため、能力についてのデータ等を含む I D コードの送出を行う。そして、相手からの I D コード返送を受け、同様の能力を育することを確認した後に画像テータの送信を行う。

すなわち、第4図において、キーパッド(9)によって画像送出を指示すると、入出力ポート(10)を介してCPU(11)がこれを検知ロプログラムメモリ(12)に手が格納されたプログラムに従って10コードを変復期回路(13)に送出する。そして、この10コードをアナログに送出する。そして、この10コードをアナログに選出した後にマトリクススイッチ(5)を介して電話回線機能増予(7)から送出する。通信用手からの10コードは上記信号経路と逆の経路を経てCPU(11)がコードを確認する。

回路、(7)は出話回線接続達子、(8)はスピーカ、(9)は十一パッド、(10)は人出力ポート、()1)はCPU、(12)はプログラムメモリ、(13)は変復週回路、(14)はテレビカメラ、(15)はイメージコントローラ、(16)は画像メモリ、(17)はディスプレイである。

次に、この従来のテレビ雑話機の音声と画像信号伝送の動作を第3図から第4図に基づいて説明する。

第3図において、音声による通話は送受話器 (1)またはマイクロホン(2)から音声入出力 回路(3)、アナログ回路(4)、マトリクスス イッチ(5)、電話インターフェース回路(6) を経て電話回線接続端子(7)に送出される。ま た、通話相手からの音声信号は上記信号経路と逆 の経路を経て送受話器(1)またはスピーカ(3) で再生される。

ここで、画像信号を送信する場合は、第 5 図に示すように通信相手が同一データ形式画像データ

接続漫子(7)に出力される。

また、通信相手から1Dコードまたは画像デーク入りがあると、マトリクススイッチ(5)がからしたキャリア信号によって送出先を選けての受信信号をアク回路(4)から変復期回路(13)へ切り替える。そして、前記受信信号を変復期回路(13)で送って後、CPU(11)が1Dコードの返までした後、CPU(11)が1Dコードの返よイリに通像メモリ(16)へデータを格納したよージコントローラ(15)が自画像デークを遅次専出してディスプレイ(17)に表示する。

なお、画像の送受信が終了して変復調回路(1 3)からのキャリア信号が無くなると、マトリクススイッチ(5)は電話インタフェース回路(6)とアナロア回路(4)を接続して音声による通話に復用する。

「発明が解釈しまうとする問題点」

このような従来のデレビ電話装置にあっては、 装置は電話回線と接続されており、自由な移動が できないという問題点があった。

この発明は、このような問題点を解決するためになされたものであって、コードレスとして自由 な移動が行える静止両テレビ電話装置を提供する ことを目的とする。

[問題点を解決するための手段]

【作用】

移動部はテレビカメラ、CPU、変調手段、無 線送受信器を行しているので、テレビカメラによ

行うものである。

一方、電話インタフェース回路部 (200) は 上記移動部側の送信器 (19)、受信器 (20) に対応した受信器 (21)、送信器 (22) およ び制御回路 (23) を有している。

そこで、出話回線端子(7)から供給された信号は電話インクフェース部(200)の電話インクフェース部(3)を信めための処理を行う制御回路(23)を介し、送信器(22)から無線として発信される。そして、この無線はもある。この受信器(20)によって受信される。この受信器(20)によって受信された信号に変換する制御回路(18)を介しマトリクススイッチ(5)に供給され、従来例と同様に処理される。

また、透受信器(1)等から得られた音声信号 ウァレビリー・(1)、で得られた画像データ等 はマトリントス(ッチ(5)、無線送信を行うた めの処理を行う制御回路(18)を介し送信器 (19)より発信される。この発信された信号は、

って得た画像を無り信号として発信する。そして、 電話インクフェース部は無線送受信器を有してい るため、移動部から発信された無線を受信し、こ れを電話回線に送出する。

このため、移動部をコードレスとでき、電話同 線とは関係なく自由に移動できる。このため、操 作性を大幅に改善できる。

[尖施例]

以下、この発明の一実施例について図面に基づいて説明する。

第1図において、(1)~(17)は、第3位 に示した従来例と同一の構成要素であり、説明を 省略する。

この実施例において特徴的なことは、装置全体が移動部(1 0 0)と電話インタフェース回路配(2 0 0)に分離されていることである。そして移動部(1 0 0)のマトリクススイッチ(5)は制御回路(1 8)を介し送信器(1 9)および受信器(2 0)に接続されている。なお、これらに信器(1 8)、受信器(1 9)は無線の送受信を

電話インタフェース部(200)の受信器(2.によって受信され、通常の信号に変換する制御间路(23)、電話インタフェース回路(6)を行て電話回線に送出される。

このように出話インタフェース回路部(20月と移動部(100)が分離されており、無線前ににより両者の接続が行われるので、移動部(150)を自由に移動することができ、テレビ電話によの操作性を大幅に改善することができる。

さらに、この実施例の静止画テレビ電話装貨:おいては、第2図に示すように複数の移動部 (. 0 1) 、 (1 0 2) 、 (1 0 3) を有し、適宜. 限できるようになっている。そして、電話回貨 通じ監視者は移動部 (1 0 1) ~ (1 0 3) み. 置きれている個所の画像を得ることができる。

すなわち、監視者は外部の電話機でら移動に (1) ロン・ペコトサ3) のいずれかをあらた 定められた10コードによって指定する。ここ 定は、受信側において指定待ちモードになる。 があり、例えばボーリングスイッチを買け、こ をセットして置いた場合には、外部からの電話に対し、この指定行ちの状態になるようにする。

一キして、この指定行ちの状態で、監視者が移動 35 (101) ~ (103) のいずれかを1Dコー ドで指定すると、この信号は出話インタフェース 部 (200) の送信器 (22) から電波 flとし て発信され、各移動部(101)~(103)の それぞれの受信器(20)に受信される。各移動 ©B (101) ~ (103) のそれぞれのCPU (11) は、この10コードを混識する。そして、 第2関系の場合は、移動部(101)が自己の1 Dコードであることを認識し、そのCPU(11) が送信器(19)をオンする。そして、移動部 (101) のテレビカメラ (14) によって得ら れた画像が画像信号として、送信器(19)から 信号12として発信され、進薪インタフェース部 (200)を介し監視者に供給される。なお、1 Dコードによって自己が選択されていないことを 温識した移動部(102)。(103)は、その C P U (11) の指示により、逐信器 (19) を

は従来の静止画テレビ電話装置の構成を示すプロック図、第4図は従来のテレビ電話装置の画像伝送手順を示すシーケンス図である。

図において、(1)は送奨話器。(11)は CPU、(14)はテレビカメラ、(17)はディスプレイ、(19)、(22)は送信器、(20)、(21)は受信器、(100)は移動部、(200)は移動部、

なお、図中、同一符号は同一、又は相当部分を示す。

代理人 养理士 大 岩 增 雄 (大) 2 名)

オフする。また、第2図Bは、IDコードによって移動部(102)が選択された状態を示している。

このように監視者が電話回線を通じ1Dコードを入力することによって所望のテレビカメラからの画像を得ることができる。なお、移動部(101)~(103)のマイクロホン(2)より音声を得ることもできる。

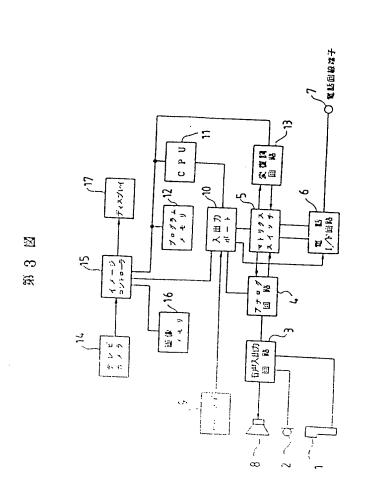
また、移動部(100)に混池を内蔵すれば、 移動部(100)は完全に独立のものとなり、さらに取扱がしやすくなる。

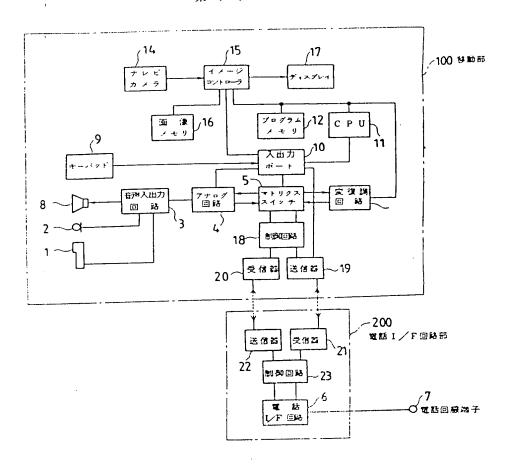
【発明の効果】

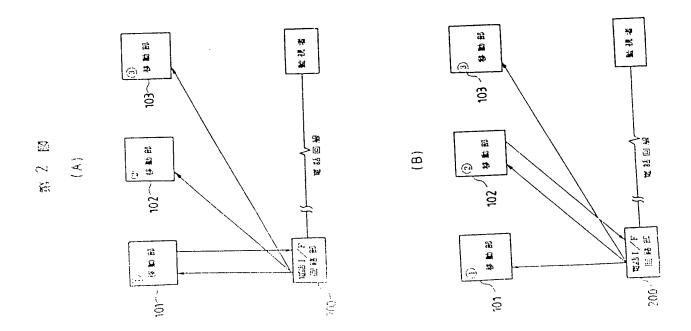
以上のように、この発明に係る静止両テレビ電話、設置によれば、テレビカメラを備えた移動部を 自由に移動できるので、操作性を大幅に改善できる。

4. 図面の簡単な説明

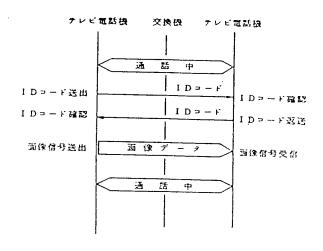
第1 図はこの発明に係る静止画テレビ電話装置の全体構成を示すプロック図、第2 図は同実施例における移動部の選択状態を示す説明図、第3 図







第 4 図



第1頁の続き | 京発 明 者 | 大 塚 | 洋 俟 | 神奈川県鎌倉市大船2丁目14番40号 | 三菱電機株式会社商 | 品研究所内 | 『発 明 者 | ホ 島 | 運 彦 | 群馬県新田郡尾島町大字岩松800番地 | 三菱電機株式会社 | 群馬製作所内

(自発) 手 税 補 正 晝

> [] 13 83 f0

特許庁長官数

特質問 62-319726 日 1. 事件の表示

2. 発明の名称

静止画テレビ電話装置

3. 補正をする者

事件との関係 持許出願人 東京都千代田区九の内二丁目2番3号 住 所 (601) 三菱電機株式会社 名 称 代表者 志 岐 守 哉

4. 代 理 人

住。所

、東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三菱電機株式会社内

(7375) 弁理士 大 岩 増 雄 (連絡先03(213)3421特許部)





5、補正の対象

明加書の発明の詳細な説明の概。

6. 福正の内容

補正後の内容
37.4.23
33 3 E3
送受話器以上
Fi